




第17次中期経営計画での目指す姿である「このまちで、あなたと…～金融の枠を超えて地域の価値向上を実現する銀行グループ～」の実現に向け、地域の将来に亘る発展・成長を支え続けていくため、お客さまを起点とした成長戦略に取り組めます。

DX（※）戦略についても、キャッシュレスの進展等によるお客さまのニーズの変化に対応するため、人（リアル）とデジタルを融合したサービスを提供し、地域、企業、個人のお客さまの利便性向上や、サステナブルな地域社会の実現を目指して参ります。

※DX（デジタルトランスフォーメーション）：企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること。

-  **対顧DX** …統合データベースをフル活用し、人+デジタル=ハイブリッド型ビジネスを確立します
-  **行内DX** …抜本的な業務効率化、事務削減を実現し、営業活動に注力できる態勢を整えます
-  **システム戦略** …当行グループ内のシステム高度化に取り組めます







## (1) 対顧DX

営業店窓口やスマートフォン等の顧客インターフェイスのデジタル化により顧客利便性の向上を図るとともに、人による相談・提案時間を捻出することで、お客さまそれぞれのステージに応じたサポートを行って参ります。

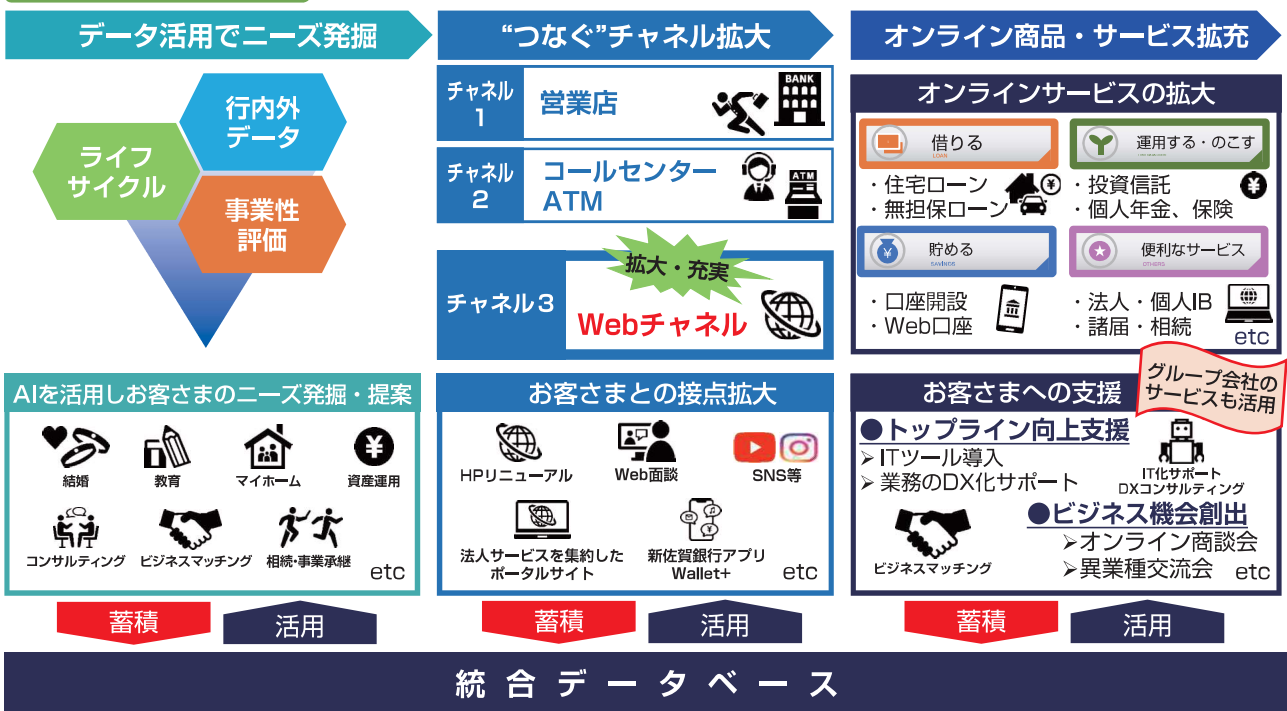
また、統合データベースの構築により、当行グループ内で蓄積した情報をフル活用し、コンサルティング営業の向上や営業活動の効率化を実現します。

### 人とデジタルが融合したハイブリッド型ビジネスの確立

- 1** 「若い世代に選ばれる」「シニア層に優しい」「地元を離れても使いやすい」商品・サービス
- 2** 「必要なサービス」を「必要なタイミング」で「リアルタイム」に提供
- 3** 営業店（リアル）はコンサルティング（相談）中心の営業へ
- 4** 「佐賀銀行グループの利用」⇔「地域発展・活性化」となる双方向の関係構築

-  銀行内外の様々な情報を統合データベースに集約し、高精度情報を一元管理
-  統合データを活用し、お客さまの多様なニーズにあう商品サービスを幅広いチャネルで提供
-  基本的な銀行取引はWebで完結
-  行内DXや生産性向上の取り組みにより創出する人的資源をコンサルティング営業に配置

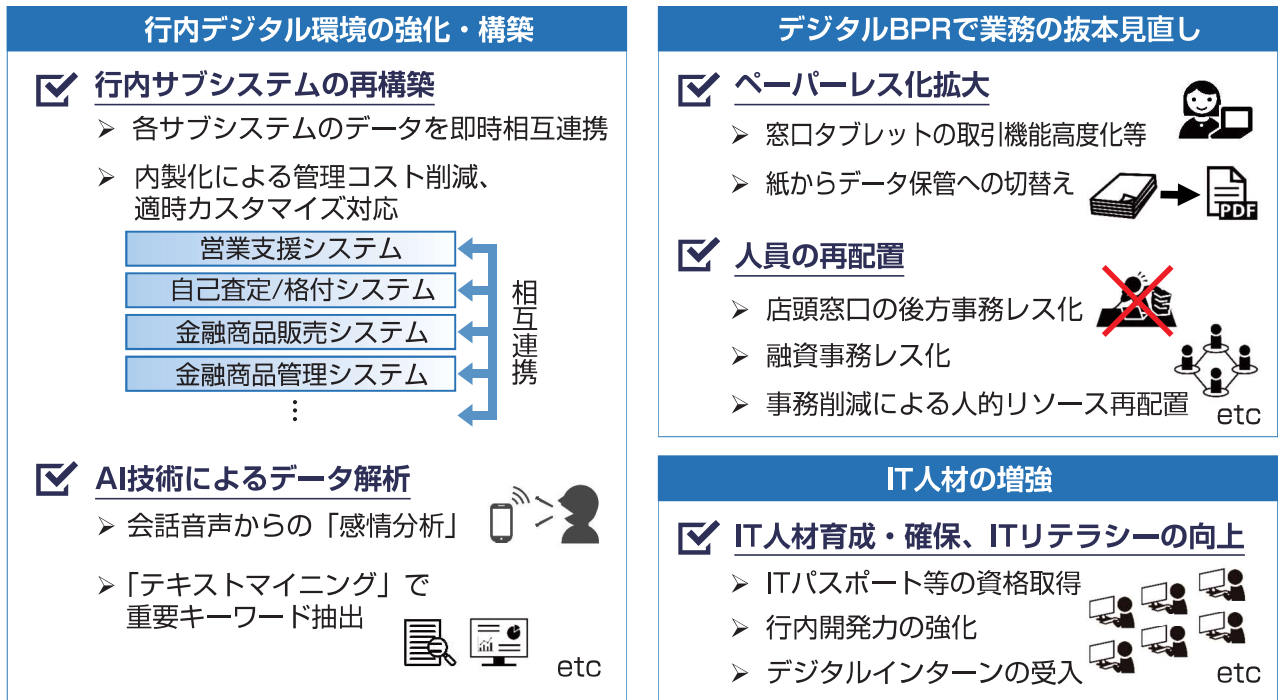
### サービス提供イメージ



## (2) 行内DX

営業店や本部のバック業務において、徹底した業務の見直しやデジタル技術の活用により大幅な業務削減を図り、営業活動に注力できる環境を構築して参ります。

また、IT人材については、行内全体のリテラシー向上のため、行員向けIT関連研修の充実を図るとともに、各種IT資格の体系化、計画的な保有者の増加に取組む他、新たなIT人材確保のため、新卒者を対象としたデジタルインターンシップの実施や、中途採用の強化を図ります。



## (3) システム戦略

新技術を活用して業務効率化とコスト削減、サービス拡充に取組みます。

また、高度化するサイバー攻撃への対応等によるグループ全体のITガバナンスの強化や、デジタル人材の育成・確保に積極的に取組んで参ります。

